燃える母校愛で
法政大学と法学部の
さらなる発展を！

第14号　2005年（平成17年）12月20日

法政大學 法学部同窓会報

発行所　法政大学法学部同窓会
発行人　金子　征史（同窓会会長）
編集人　佐伯　利昭（会報編集長）
事務局　〒101-0047
東京都千代田区内神田１－８－９号
福田ビル６Ｆ
ＴＥＬ．03（5283）7371
ＦＡＸ．03（5283）7455
http://hosei-hogakubu-dosokai.jp

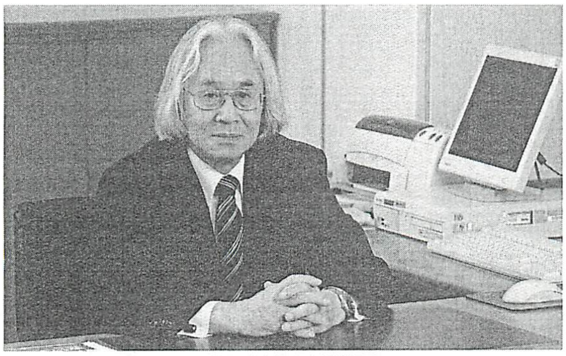
ザ・インタビュー⑦　平林千牧法政大学総長

改革をすすめる法政大学

ザ・インタビュー七回目は、今年四月本学総長に就任した、平林千牧総長を訪ねお話を伺った。大学改革やこれからの法政大学のあり方、私生活の話では思わぬ話を聞かせてくれた。

（聞き手　広報委員　佐伯利昭）

21世紀の高等教育のあり方を語る



平林千牧法政大学総長

ー平林総長は本学初めての純粋な生え抜きの総長ということで、大変親しみを持たせていただいています。今日は同窓会の取材ですので、総長の学生時代のことなどもお聞かせいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

まず始めに、21世紀、少子化の中、私学としての法政大学の役割についてお考えを聞かせてください。

□高等教育の課題

平林千牧総長　法政大学の役割の前に、高等教育の役割は何か、それが前提としてあります。1980年代以降、日本の高等教育は進学率が高まり、一般的に大学の大衆化が進んできました。ちょうど今年短大と4年生大学の進学率が50%を超えましたが、他方18歳人口が減少して行く状況です。しかもそれは18歳代の人口だけの問題ではなく、マクロ的には日本が人口減少社会になっているということです。今年前半の人口統計の速報値で出生数と死亡数を比較すると、出生数のほうが小さくなっています。だからここがターニングポイントとなって、今人口減少社会に入ってきています。よくお話をするのですけど日本の人口推計をする場合、3通りあって「そうとう厳しく減って行く」「ほどほどに減って行く」「それほど減らない」と低位、中位、高位とあります。確定的なことは言えませんが、現在は推計の低位を下回るスピードで人口減少に入っているのではないかと思われます。2007年問題といい、日本の高度成長を支えてきた団塊の世代が引退の時期を迎えるわけです。色々な議論がされていますが、高等教育に進学する同世代が増えている中、人口が減っているということになると、少数者でより良い社会を形成しなければならない、経済学的に言えば人口が多い方が成長率は高いのですが、これからは個々の人間の能力を高めて行かなければならないということになってきます。

そこで、高等教育はこうした新たな局面に応えた教育を担うことが課題になります。これは基本的なことですが、その課題は容易なことではないのです。18歳人口の減少による経営上の問題もありますが、他方専修学校も高等教育の中にいれると実に70%以上の同世代が高等教育を受けていることになります。その中で、高等教育の質をどう高めて行くかが最大の課題になってきます。今年の一月中教審が、「わが国の高等教育の将来像」、いわゆるグランドデザインを答申しました。その書き出しが特徴的です。「21世紀の社会は知識基盤社会」だと指摘し、人間の知的創造力を活用することが21世紀の課題になるという認識を示しており、これは正しいと思いますし、日本の将来構想にかかわる基本的な認識は的確なものと思います。

□高等教育のクオリティ

そこで高等教育のクオリティをどう高めて行くのかを大学づくりの根幹にすえなくてはいけなくなります。またこの間統計的に見ると、専門職大学院等、私は高等教育の上に立つ「高度高等教育」と言っているのですが、その高度高等教育の機会を利用される方も増え、なおかつ社会人を含め多様になっています。社会人の方は社会で活動し、さらに新たな知識を獲得し、生活を高めて行く、そういう努力をするわけです。社会の生涯学習社会化です。その教育機会をいかに提供できるか、学部教育の質を高めると同時に高度高等教育のプログラムをいかに提供できるかが高等教育全般の課題と言えます。

□本学の改革

その中で法政大学がどう大学作りを進めるかということですが、この間法政大学は二段階に渡る改革を行なって来ました。第一段階としては学部教育に関わることです。21世紀の社会に必要な人材育成をどういうプログラムで引き受けるかということであり、本学の個性化のための大学作りが進められてきました。この間1999年から2003年までの間に新設学部として、国際文化、人間環境、情報科学、現代福祉、キャリアデザインの各学部を開設しました。これらはいずれも我が国21世紀社会を担う人材育成の教育プログラムです。もちろん従来学部でも、法学部から始まって文、経、社、営、工それぞれ新学科をつくっています。これも重要な改革です。日本ではこういうテーマを掲げて取り組んではいますが、時代的に遅れています。先日も選挙が終わり、いろいろな社会問題を通しての議論でおわかりになると思いますが、日本は21世紀社会にふさわしい社会形成を行なって行くため、制度改革という点で遅れてきています。とりわけ高等教育もそうだと思います。国立大学を法人化するということで、私立大学と同じ土俵の中で良い大学をつくれということになってしまっています。我々にとっては強敵が現れるわけです。そうなると我々が進めて行かなくてはならない改革、人材育成の教育プログラムの整備を、他の大学に負けない速さで取組み、実現して行く、さらに他の大学に負けないクオリティを確立して行くことが求められます。これまでの取り組みでは、教育プログラムをつくるということで、他大学に先駆けて注目を集めてきました。後半のクオリティという側面は今まさにとりかかっているところです。FDセンターを立ち上げ、教育プログラムのクオリティ管理を高めて行く体制を整えるというのが改革の二段階です。ただ、改革の二段階目ですが、21世紀にふさわしい学部を作るということでは、工学部系が少しおくれております。ですから順序から言うと、文系が二段階目に入っているところで、工学部系改革の一段階目が重なってきている、今はそういう状況です。工学部が昨年度からシステムデザイン学科を立ち上げ、2006年には生命機能学科というバイオ系統の学科を設置、2007年にはデザイン（理）工学部を開設、その後さらに学科再編による新学部の設置を進めます。どこの大学もそうですが、理工系の改革というのはなかなか難しいのです。ただ話が多岐になりますが、傾向的に他大学は私たちが文系の改革をしている間に、理工系の改革を始めています。大学全体の改革ということでは、私たちの文系の改革は非常に目立ちましたが、地味な形での他の大学の理工系の改革は進んでいるのです。法政大学は文系の比重の高い大学ですので、集中的に改革を進めて来ましたから注目度が高まったわけです。2年間で4学部作ったという大学はおそらく他にはないでしょう。

□高度高等教育

さらに先ほど言いました高度高等教育ということでは、大学院に2年前法科大学院（ロースクール）を開設しました。これは専門職大学院です。同様にイノベーションマネージメント研究科を専門職大学院として設置しました。中身は二通りですが、いわゆるビジネススクール系と、今年の4月から同じ研究科の中に会計大学院（アカウンティングスクール）としての専門職大学院です。先ほど法政大学を高等教育の担い手としてどのような大学づくりを進めて行くのかというお尋ねがあったわけですが、今挙げた専門職大学院は有力伝統私大ではほとんど開設し、社会的な要請に応える大学づくりを進めています。大手の有名伝統私大はしばらくは専門職大学院づくりに重点を移して行くと思います。それはそうならざるを得ないという側面と、そうした方が有利だという側面があります。法政大学は私立大の中では、一貫して大学院教育を進めてきました。大学院の卒業生は、研究者、教育者として全国で仕事をしています。法政の大学院は高いレベルを維持してきたと思います。かつての旧帝大を軸に、一ツ橋、東工大など大学院重点化の政策が進められ、「大学院大学」化しています。学部教育よりも大学院に教育、研究の重点を移しました。今これらの大学は在学生の比率が逆ピラミッド化しています。つまり学部生より大学院の学生が多いということです。かつてなら私大が引き受けていた大学院教育を蚕食しているというか、掘り崩しているということになります。したがって、私大が得意とする高度高等教育分野を追求しなければなりません。これはやはり専門職大学院になると思います。私学はこれまで主に、産業界、実業界に人材を育て送り続けて来ました。これは私学の実績といって良いと思います。私どものOBも民間企業のトップや幹部を勧め活躍している方が大勢います。もちろん法曹界もそうですが、民間で仕事をする人材を大勢育て送っている、これは私学の有利さだと思います。そこでこの時代にふさわしい実務的能力を備えた人材として実社会に送り出す分野、しかも高度高等教育で求められている分野はやはり専門職大学院ということになるわけです。各私大はここに力を入れているわけですが、だからといって国立がここに手を出さないのかというと、そういうわけではありません。厳しい競争です。高等教育の担い手として、しかも法政大学が社会的な注目を大きく集めている時、高い地位のブランドを維持して行くためには、優秀な人材を社会に送り出して行かないとこの評価の維持は困難であることは必然的です。

もう一つは数値的なことからですが偏差値です。どこの大学がどの程度の偏差値の学生を受け入れているかをおおまかに言いますと、偏差値50以上の学生が国公立大学には入ります。私学は50以上も50以下も引き受けますが、関西も含め、有名伝統私大は国公立と同じ50以上の学生を引き受けているのです。したがって我々は私学の中でこの範囲で激しい競争にさらされていると同時に、国公立大学との競争にもさらされているということです。今後大学経営で重要なことは、いかにレベルの高い学生が確保できるかということです。よりレベルの高い学生の確保はきわめて重要です。レベルの低下は教育に多くの困難が生じるでしょう。偏差値50以上の学生の獲得は単に法政大学の戦略ではなく、どの有力私大も同様です。そこで資力のある大学ならば奨学金等で優秀な学生を確保することは可能です。しかし日本の

【2面につづく】

講演会報告

亀田製菓株式会社
会長　古泉　肇氏

私は、昭和40年経営学部卒業の古泉で御座います。本日は伝統と栄光に輝く法学部同窓会へお招きを頂き、身に余る光栄に存じます。私は新潟のしがない煎餅屋のおやじでございまして、業界では「あられやセンベイ」と呼ばれております。皆様の参考になるお話がつとまりますか甚だ不安でありますが、ご指名でありますので、頂戴致しました時間をつとめさせて頂きます。

先ず、お煎餅の市場とその特徴からお話させて頂きます。米菓の市場規模は約23百億円、お菓子全体の市場規模が約1兆3千億円と言われる中で、保存が効く流通菓子として上位の市場規模を持っておりますが、産業全体から見れば、大変小さな規模でございます。米菓の特徴と致しましては、小麦やジャガイモ等を原料とする菓子に比べて世界一高い減量であるお米を原料にしていること。労働集約型産業で600億円生産するのに、2千人余の人員を必要とします。更に燃料多消費型産業でもありまして、加工食品のほとんどが1度熱を加えて商品になるのに、2度、3度と熱処理を致します。先ずお米を蒸かします。それでも十分に食することが出来るのですが、さらに熱を加えて乾燥し、それから焼き上げて風味を加え、さらに味付けをして、また乾燥するという具合です。このように長い工程が必要なことから大きな設備投資や、品質管理のためのマネジメントが大変難しいということです。お陰様でこれまでは大手企業の市場参入がなく、今日を迎えております。これからのことはわかりませんが…。このような米菓の工程の特徴が米菓を、消化吸収がよく、健康的な自然食品としています。また米菓は古くて新しいお菓子でもあります。グローバルな視点でお菓子市場を見たとき、日本のオリジナルと言えるものは、和菓子であり、お煎餅であり、あられでありまず。チョコレートにも、スナックにもあるいはカステラにもそれぞれの故郷がありますが、それは日本ではありません。国際的な視点で見るとき米菓は、日本を代表する食文化〝BEIKA〟であります。この事が実は業界が成長する上での大きな課題でもありました。つまり量産機械を自分達の手で開発せざるを得ないという課題があったのです。

さて、概ねのご理解を頂けたと思いますので、ここで弊社の経営の現況について少しお話を申し上げたいと思います。弊社は、2000年からグループビジョンの策定にとりかかり、2002年3月、「人とお米のまん中に」とするビジョンを策定致しました。グループが目指す方向を①21世紀へ大衆菓子としての米菓を世に残していく②世界を舞台にして米菓の普及定着を実現する③バイオニア精神旺盛な企業集団を形成する、としたのです。

創業以来の亀田製菓の経営理念は、「会社にまつわるすべてのものの要求に応える」でありました。株主をはじめ、企業の中心たる人、物、金、情報や取引先顧客、銀行、公共団体等の要求にできる限り応えていく様に努力することが重要だという考えです。そのことにより、社業永劫の存続をはかる、これは経営者として祈りであっても良いとして創業者が制定したものです。グループビジョンはこの考え方を踏襲して、次代を担う若手社員との対話を通じて、まとめたものです。

この新しいグループビジョンの下、ヘルスケア商品としてのおかゆや低蛋白ご飯などの主食米の事業やバイオニア精神旺盛なグループ企業集団として物流、システム開発、機械設備のグループ企業を育成しております。さらに海外戦略として、合弁会社の設立、資本提携などで、米菓の世界進出を図っています。最後になりますが、アルヒレックス新潟のスポンサーとして、亀田製菓ともども御支援をお願い致しまして私の本日のお役目に代えさせて頂きます。御清聴誠にありがとうございました。

平成17年度法学部同窓会
定期総会・懇親会の報告

平成17年7月9日（土）午後1時から赤坂プリンスホテルにて平成17年度定期総会・懇親会が開催されました。午後1時から本学出身の亀田製菓株式会社会長古泉肇氏の講演があり、亀田製菓の「柿の種」、メインスポンサーとなっているサッカーJリーグのアルビレックス新潟に対する後援に至る経緯など、情味かつ活力あふれる内容でした。

更に、今回は、吉川経夫（刑法総論）名誉教授の講演があり、大学における講義内容、刑法学会などの流れなど、冗句を交えながらのお話でした。出席者の方々から「懐かしい」「お元気」の言葉が飛び交う和やかな雰囲気が特徴的でした。

金子征史同窓会会長の就任挨拶に続き、決算、運動方針などの総会の各報告があり、午後2時30分頃から懇親会が開催され、年代を越えた交流の輪が、広がりました。

原島前会長から金子会長にバトンタッチ

【1面からのつづき】

□大学の社会貢献

中教審の大学のグランドデザイン、将来像においても明確に指摘されているのは、21世紀の大学は、教育と研究だけではなく社会貢献という役割を担うべきとしていることです。これはこれまでの、人材を育てる社会に貢献するということとは別の意味で強調されているのですが、産業界あるいは地域とのジョイントで、大学の持っている知的能力の社会での有効活用が強調されています。一般的に言うと、大学の持つ知的能力を積極的に社会に出して活用する努力をしなさいということです。本学は地域研究センターを設置しました。従来あるものもそうですが、いかに研究分野を社会に結び付けて行くかの経営的努力を大学づくりの戦略として重視してきました。同研究センターを開設するということで、最近では台東区と大学の協定を行い、中小企業支援プロジェクトを引き受け、また三鷹と協定をして自治体政策支援をしたり、千代田区でも千代田学に参加し協力するなど、積極的に取組みを進めています。

―大学改革について、様々な話をありがとうございます。ところで大学のブランドということもお話もありましたが、大学スポーツも、その学校のブランドの一つだと思います。先生はかつて、陸上部の部長もなさっていましたが、大学スポーツのあり方などについて、お聞かせください。

平林総長　これは大きい問題を二つかかえています。大学が引き受けるべき教育というのはやはり学部で人を育てて行くということが基本です。それに対してチャンピオンスポーツというのは学生の課外活動で維持されていくべきもので、本学は体育学部とか体育系の学科を持っていませんからこれまでの課外活動に対する支援が特に大きくかつて比べもっと努力しないと維持できないものになってきています。二つは設備面でこれは非常に大きな問題です。現代では時間と空間がありばがんばって能力を維持できる時代ではなくなりました。きちんとした指導体制や能力を維持向上できるインフラを用意しなくてはいけないということです。かつてに比べ比較にならないほど投資を必要とします。

もう一つはそこで活躍する学生をいかに確保できるかということです。従来ですと先ほどから言われているブランド力、法政の野球部に来ないかと言われれば「法政の野球部ならぜひやりたい」と、ある意味では求めれば選手の確保ができました。しかし今どこの私立大学もスポーツに力を入れて、大学のブランドづくりに取り組んでいます。良い選手をいかに確保するかは大きな問題で、いかに学生がこの大学に魅力を感ずるかが重要です。最近では単にこれまでのブランド力だけではなく、学生の生活条件を含む学生獲得の競争になっています。法政大学は毎年スポーツ推薦で200名ほどの学生を迎えています。これは推薦基準を満たす学生ですが、それぞれ法政大学の11の学部のいずれかに入学し、学部教育を受け、スポーツを担うことが原則です。しかし実はそれが先ほど言った学生の生活条件を満たし、なおかつ法政大学のスポーツの活性化に役立つということでは、むしろ障害になっているのではないかと考えました。スポーツをやりながら自分が学びたい学部があるのに、大学の事情で他の学部に入らざるを得なかった。つまり競技施設によって自動的に配分されてしまうのです。競技施設が多摩にある競技の選手は多摩にある学部、川崎の施設を利用する競技は市ヶ谷にある学部となっています。例えば野球部のスポーツ推薦になる学生は市ヶ谷に行く、自分は野球をやりながら経済学を学びたいと言ってもそれができないのです。そういうこともあり、従来の組み立てでは今の困難を乗り切れないと考えました。スポーツ推薦で来る選手はもともと高いスポーツ能力をもっているわけですから人生選択の中ではそれを生かしてゆく、その道を選んで生きて行くために有効な教育プログラムを用意したほうが良いと考え、この4月からスポーツを担う学生のため、SSTという学部横断的な教育プログラムを用意しました。インターネットを駆使し、市ヶ谷でも小金井でも多摩でも、スポーツ医学やスポーツ心理学、指導者論などが同時に学べるようになっています。はじめはスポーツ推薦入学学生の二分の一くらいを想定していましたが、いざ開講してみると「何で半分なんだ」「我々も入りたい」と旦下のところきわめて好評です。

設備面では土のグランドでラクビーのトレーニングをしている有名チームは法政しかありません。芝生にして欲しいという要望がラクビーだけではなくサッカーからもきています。川崎でも野球部のグランドを芝生にして欲しいということと、土ぼこりのため、長年にわたり近所からクレームがついているということもあります。いずれにしろ近代的なトレーニング、スポーツ科学充実のためにインフラを用意していて行かなければならないでしょう。大学の財政基盤の確立とともに、大学の華のひとつであるチャンピオンスポーツの施設整備も進めて行きたいと思います。OBのご努力で不足分のサポートもしていただいています。できればそちらにもっと経費をまわしたいところですが、多くの経営上の必要があり、厳しい現実があります。市ヶ谷では旧学生開館の建て替え、小金井も再開発が避けられません。法政一中高の移転もあります。お金がかかることにはきりがありません。

―さて、最初にもお願いした総長の学生時代のお話を聞かせてください。

平林総長　学生時代の最も強い思い出は、やはり良い先生に指導を受けた、これが一番であったと思います。

―最後に総長の趣味など聞かせてください。

平林総長　何事にも手を出すというのが趣味かも知れません。山っ気があるのでしょう。ただ近年は特に料理がそれに当たります。台所にいることはあきません。新聞の簡単な料理メニューなどを見てこれをつくる。ひまがあると台所で料理をつくります。フランス料理は大変難しいけれど日本料理、中国料理など比較的上手につくっているつもりです。

―時永先生にとって私が良い弟子だったかどうかはわかりませんが（笑）先生は法政の最後の年に肝臓ガンで現役のまま亡くなりました。その時私は海外研修でロンドンにいて、ちょうど帰る時期だったのであわてて帰りました。病室にかけつけたとき、「おまえ、遅かったな」という先生の言葉が忘れられません。

―最後に総長の趣味など聞かせてください。

平林総長　何事にも手を出すというのが趣味かも知れません。山っ気があるのでしょう。ただ近年は特に料理がそれに当たります。台所にいることはあきません。新聞の簡単な料理メニューなどを見てこれをつくる。ひまがあると台所で料理をつくります。フランス料理は大変難しいけれど日本料理、中国料理など比較的上手につくっているつもりです。

ながふかし）先生には親子のように面倒を見てもらいました。私の学生生活は「よき師よき友集い結べり」まさに校歌そのものです。大学3年の時、時永先生のゼミに入り大学院で指導を受けその後大学の教員となり先輩、後輩として付き合ってきました。私は法政大学を意識して入学したのですが、それにしてもここまで先生に恵まれるとは想像もしていませんでした。私は経済学史という学問分野をたわけではありません。先生に出会うことによってこの学問分野が非常におもしろくなり、ほとんど先生と同一諸して人生を過ごしたということです。もっとも時永先生にとって私が良い弟子だったかどうかはわかりませんが（笑）先生は法政の最後の年に肝臓ガンで現役のまま亡くなりました。その時私は海外研修でロンドンにいて、ちょうど帰る時期だったのであわてて帰りました。病室にかけつけたとき、「おまえ、遅かったな」という先生の言葉が忘れられません。

―最後に総長の趣味など聞かせてください。

平林総長　何事にも手を出すというのが趣味かも知れません。山っ気があるのでしょう。ただ近年は特に料理がそれに当たります。台所にいることはあきません。新聞の簡単な料理メニューなどを見てこれをつくる。ひまがあると台所で料理をつくります。フランス料理は大変難しいけれど日本料理、中国料理など比較的上手につくっているつもりです。

鈴木貞司法律事務所
弁護士　鈴木貞司
札幌市・札幌弁護士会館六F
久し振りの六大学野球優勝！
次は、正月の箱根駅伝を応援しましょう！
昭34卒

組織委員会
理事　佐藤忠篤
〒206―0002　多摩市一ノ宮四―十九―七
電話・FAX　〇四二（三七四）〇二七七
昭和35年法・法卒

法政大学法学部同窓会
理事　小野瀬敬二
〒199―0204　神奈川県津久井郡藤野町小渕一八一四―七
昭和35年3月法学部法律学科卒

研友社印刷株式会社
取締役会長　内藤松夫
TEL　〇三―三五六四―〇三三八
昭和三十七年三月法律学科卒

法政大学後援援会クラブ
法政大学校友連合会理事
NPO（福島県）テラコヤ学塾理事
法政大学法学部同窓会
理事　井上茂秋
政治学科1965年卒

鈴木・松田法律事務所
弁護士　鈴木正捷
〒113―0033　東京都文京区本郷二―四〇―一三
本郷コ1ボル7階
電話　〇三―三八一二―五一八一（代）
FAX　〇三―三八一二―五一八三
昭和41年法学部法律学科卒業

仙台合同公証人役場
公証人　田子忠雄
〒980―0802　仙台市青葉区二日町一六番一五号
武山興産第二ビル一階
電話　〇二二―二二八―一〇五
FAX　〇二二―二二六―一〇〇一

株式会社グリーンコート
専務取締役　鈴木勝善
〒160―0001　東京都新宿区片町6―第44770号
東京都事務所免許
渋谷区ビル1階
TEL　03―3318―1018（代）
FAX　03―3318―1017
昭和42年政治学科卒

中村司法書士事務所
司法書士　中村眞一
〒169―0073　東京都新宿区百人町1―23―13
大和ビル4階
TEL　03―3371―0778
FAX　03―3371―0762
E-mail:nakamura-office.158@msn.com.jp
昭和四四年三月法・法卒

不動産管理
有限会社ヤマサ
監査役　山嵜正俊
電話　〇三―三三五一―三五〇〇
FAX　〇三―三三五一―三五〇五
同窓会の仕事を理事として手伝っています
昭和四四年三月法・法卒

シンガポール支部
校友連合会定期総会開催

校友連合会シンガポール支部定期総会が、7月21日（木）市内、「レイガーデン・オーチャード」で開催された。総会は日本より応援ツアーに参加した4名、シンガポール支部12名、タイ橙友会から5名の計20名で盛大に開催された。

総会は異弘行支部長（80経経）によって進められ、参加者の自己紹介で始まり、式は校友連合会岩部金吾会長のメッセージを佐藤忠篤（60法法同窓会組織委員）氏が紹介し、法学部同窓会五明公男理事長のメッセージを参加者から披露された。今回出席の法学部卒業生は、大塚一朗（87法法船橋ゼミ・サッカーアルビレックス新潟・S監督）氏。斉藤隆（84法政応援団吹奏楽部）氏、2名。

その他現地で活躍のOG・OBは安倍幸子（58法政）、本田孝光（62法法）。山田俊一（90法政）。石原健太郎（99法法プロゴルファー）。がいる。

懇親会は近況報告と昔話に花が咲き、時間の過ぎるに花が咲き、時間の過ぎる事を忘れ進んだ。

最後はこの総会の為、日本から参加した斉藤隆リーダーによる校歌斉唱で閉会となった。

その後は、両国との情報交換・タイ橙友会への訪問を約束して散会した。

（記　佐藤　忠篤）

マーライオンの国にて

平成5年法卒　**吉田実貴人**

PricewaterhouseCoopersという会計・監査事務所のシンガポール（Singapore。以下、Spore）事務所で勤務しております。当業界は企業規模の拡大やM&Aの増大に伴い業務量が増大しており、当オフィスだけでも2000人近いスタッフが在籍し、会計・税務・会社設立・アドバイザリー業務を行っています。私は日本の公認会計士として監査部門に所属しておりますが、日系企業からの問い合わせの中には会計以外の分野（会社設立や個人所得税・国際税務はまだいいほうで、弁護士の紹介などもあります）の質問も多く何でも屋と化しています。

Sporeは、人口400万人、広さ600平方kmで、大体東京23区とほぼ同じと思ってもらえればよいです。その中に国際貿易港（ガントリーが100基以上並ぶ姿は壮観）やショッピングで有名なチャンギ空港（24時間運用の4000mの滑走路2本）があります。食料自給率ほぼ0%、飲料水さえ自国で調達できず隣国から有料で購入しているのですが、腐敗を許さない政府、国際競争力重視の産業政策のおかげで、生活物資はどれも豊富に手に入り、生活水準はアジアの中でナンバーワンかもしれません。

赴任後、個人的に変わったことといえば、ゴルフを始めました。多くのビジネスマンが、隣国マレーシア（車で30分）に安価な休日を、仕事と趣味と気分転換をかねて楽しんでいます。またオーチャードという銀座と六本木を足して2で割ったような場所では、毎晩クラブ活動を続けるビジネスマンも少なからずいらっしゃいます。あまりに国土が狭く、法律は厳しく、つまらない国という批判もありますが、ナイトサファリやラッフルズホテルをはじめとする観光スポットもたくさんあります。

Sporeにお仕事・観光等でいらっしゃった際にはぜひお声がけください。

短信

守田　勉
（昭和45年法法卒）

去る9月一七日に、三〇年振りに、司法試験合格を目指して勉強した仲間が、法政大学ボアソナード館一五階の会議室に集合して、昔話しに花を咲かせました。振り返ってみると、この三〇年長いようで、短かった様にも感えます。私の場合、いろいろな場面に出くわした感じがします。二〇代、司法試験に専念していたが、論文突破できず、自分の能力に自信が持てなかった時期、三〇代、司法書士の資格を取得して、登記業務を行うが、田舎町での慣習に馴染めず、悶々としていた時期、四〇代、不動産鑑定士二次試験に合格して、鑑定業務に従事し、山口県の市街地を駆け巡って、慣れない数字に頭を悩ましていた時期、五〇代、光市の市議会議員として選挙の大変さを身に沁みて感じていた時期、四期を自ざしていたところ、市議会議員選挙では、全国的にみても稀な、最下位で同数となり、抽選で落選、その後、疑問票の再点検を求め異議の申し出をしたところ、広島高裁で逆転勝訴し、現在最高裁の判断待ちの状況です。一票の投票の重さを、教科書ではなく、身をもって感じたところです。このような人生の選択は、誰に言われた訳ではなく、自分で判断したのですが、六〇代を前に、今思うと、運命の糸で導かれていると思う外ありません。これから先は、かわいい孫と、ゆっくりと、遊ぶことが望みですが、どうなることやら。

三〇年振りに、昔の仲間を歩み出し、また平行して司法試験の勉強を継続する人もあった。夢ばかり膨らみ現実とのギャップは大きく、苦労知らずのメンバーはともすれば挫折しそうになった。そこで毎月の第一土曜日の午後（当時は土曜日は半休）市谷の喫茶店に集まり学生時代の延長で口角泡を飛ばして喋り英気を養う機会とした次第である。メンバーから司法試験合格者が二名輩出また各職場で活躍するに及んで会の開催も間遠となったが最近は年二回位の開催である。半世紀に及ぶ付き合いとなっている。これも塚田会長の尽力によるところである。彼の事務所を土曜会の事務局にさせて頂いている。

メンバーは現在十七名であるが一昨年カメンバー一名が他界したのが残念である。

土曜会
懇親旅行

豊田　信哉

昭和37年卒業

昭和三十七年三月に卒業した司法会のメンバーを中心に結成したのが土曜会である。

卒業後はそれぞれの道

福田　忠史
（昭和53年法法卒）

私は、現在、群馬県総務局情報政策課に勤務し、群馬県庁内部の情報通信ネットワークや電子メール、電子掲示板等を扱うグループウェアシステムの運用管理などの仕事をしております。群馬県庁での最初の仕事が県税情報システムの開発運用であったことをきっかけとして、以降この分野の仕事が通算十年余りとなりました。現在、国のIT推進政策と相俟って、地方自治体においても、電子自治体の推進を進めております。私は、主にインフラ整備の仕事を担っていますが、今年9月まで、本庁と県の地域・専門機関、県立学校、警察署等を結ぶネットワークの再構築やインターネット接続サーバ等の更新が終了し、一段落したところです。

近年、この分野では、ウィルス対策、不正進入対策等の情報セキュリティ対策が重要課題であり、所管システムの対策や庁内の情報システムへの対策指導に日々努力しております。

法政大学在学時は、三年時に須永ゼミ、四年時に岩城ゼミに属し、緊張して事例演習の発表をした記憶があります。また、二年時にギター音楽研究会に入会し、夏・秋合宿、定期演奏会、会員との酒宴も楽しい思い出です。六大学野球も同級生の江川投手が活躍した時代で、よく応援に出かけ勝利の美酒に酔いしれていました。

大学時代は、よく学び、よく遊んだ充実した時を過ごさせていただき、懐かしい思い出がたくさん残っています。

あなたの大切なことばをみつけてください。
5万部突破！
今こそ必要な100のことば
みんなのための哲人訓
辻信太郎　定価777円
西洋の哲人たちが遺した永遠の名言100
決してうつむいてはいけない（ヘレンケラー）
株式会社サンリオ　141-8603 東京都品川区大崎1-6-1　TEL03-3779-8101 FAX03-3779-8098

大和不動産ホームページアドレス　http://www.daiwa-r.com/
電子メールアドレス　daiwa@daiwa-r.com
代表　福添貞行
〒880－0082　鹿児島市紫原5丁目21－26　電話〇九九－二五五－九〇〇九　FAX〇九九－二五五－九〇二四
昭和44年法学部卒業

下西技研工業株式会社（大阪・東京）
マグテック株式会社（大阪・東京・和歌山）
代表取締役　下西孝
〒578－0921　大阪府東大阪市水走三丁目一四〇　電話〇七二九（六六）六一三一　FAX〇七二九（六六）六一三三
〒105－0003　東京都港区新橋一丁目一九一三（双葉ビル）　電話〇三（五二五一）五五八一　FAX〇三（三五一九）五五一七
大学時代は労働法の青木宗也先生のゼミでした。今でも昔のゼミの方に会うのを楽しみにしています。
昭和四四年法学部法律学科卒

大縄接骨院
ふくろう デイサービス
ふくろう 一丁目デイサービス（認知症専用型）
高島禮子
東京都板橋区大山金井町七－一一　地域に密着した医療と介護の充実を目指しています。
昭和45年卒

サンリオ自動車リース株式会社
取締役　管理部長　柳田正義
事務所　〒105－0001　東京都港区浜松町一丁目一〇番一二号　第一共栄ビル
電話〇三（三四三六）二三三八（代）　FAX〇三（三四三六）二九一八
昭和45年3月法律学科卒業

司法書士
浄土真宗　僧侶　和田尚（尚元）
〒170－0014　東京都豊島区池袋一丁目二六番七－七〇一号　電話〇三（三九八四）八三三六　FAX〇三（三九八四）八二八九
昭和49年大学院修士卒業

大塚孝子法律事務所
弁護士　大塚孝子
〒102－0073　東京都千代田区九段北四－一－五　市ヶ谷法曹ビル八〇九　電話〇三（三二六二）七一四二　FAX〇三（三二六二）七一四二
昭和五〇年三月法律学科卒業

社会福祉法人シルヴァーウィング
常務理事　事務局長　石川公也
〒206－0041　東京都多摩市中沢一丁目二番地の六　電話〇四二（三七四）一〇〇一　FAX〇四二（三七四）一〇〇二
E-mail:kimi.ishikawa@nifty.ne.jp　http://www.silver-w.jp
昭和53年政治学科卒

頑張れ法政ラグビー部！

昭和43年3月・院終了
大学講師　仁瓶　五郎

私が在学した昭和三〇年後半から四〇年前半の楽しみは、神宮における野球とラクビーであった。とりわけ野球が第一試合のときは、試合終了のエール交換の後、徒歩一〇分ほどの秩父宮に急いでラクビーを観戦という贅沢。しかも観衆の多かったこと。

それも今は昔。一万五千名収容の秩父宮の観客席に対戦校を含め、どう見ても五百名前後の観客数。サッカー人気に押されたとはいえ、あまりにも寂しい限りだが、それでも選手諸君は頑張っている。いずれも敗退したが、この五年間の大学選手権で準決勝に四度、決勝戦に一度の出場を果たしているのだ。

《ラグビー部の環境》

寄宿舎は八王子、練習グラウンドは町田キャンパス付近と、一見、恵まれているようだが、その実、他校に比べて選手諸君には苛酷な環境なのだ。なんとグラウンドが練習による怪我人が多く、しかも身体が土から芝のグラウンドになじまないためか、一〇月二十三日現在、下位校を相手に苦戦しながら三勝一敗。

情してきたようだが、この九月、イギリスの名門ケンブリッジ大学に45－11と快勝したことが再び芝花に火をつけた。母校ファンのホームページには勿論、各種のラクビー掲示板への書き込みが殺到したのである。

私が公式第一線の観戦に秩父宮へ行ったときも、常連から多くの嘆きを聞いた。

そこで、たいした役にも立つまいと思いつつ、法学部同窓会の有力者である松嶋晃正・和田尚両氏と一夕を共にし、長らくラグビー部長を務めた金子征史法学部教授への助力をお願いした。

母校卒業のラグビーフアンの一人として、素直に喜びをかみしめている。

《ようやく芝へ》

こうした状況の下、かねてより監督等のスタッフ・選手等から練習場を芝にするよう大学側に陳情してきたようだが、この九月、イギリスの名門ケンブリッジ大学に45－11と快勝したことが再び芝花に火をつけた。母校ファンのホームページには勿論、各種のラクビー掲示板への書き込みが殺到したのである。

私が公式第一線の観戦に秩父宮へ行ったときも、常連から多くの嘆きを聞いた。

そこで、たいした役にも立つまいと思いつつ、法学部同窓会の有力者である松嶋晃正・和田尚両氏と一夕を共にし、長らくラグビー部長を務めた金子征史法学部教授への助力をお願いした。

母校卒業のラグビーフアンの一人として、素直に喜びをかみしめている。

たところ、何と翌週、「芝化の予算を獲得」との朗報が和田氏から寄せられた。嬉しい限りである。

《選手権が楽しみ》

天然か人工かは別にして、グラウンドの芝が整備されるのは来期以降となろう。したがって現在の四年生には残念だが、下級生及び来春以降の入部希望者の励みになるよう、まずは関東リーグ戦を制覇して二月後半からの大学選手権での活躍を期待したい。監督やコーチングスタッフの専任化（現在は何名かのOBが休日等を利用してほぼ手弁当で指導している）といった問題も残されてはいるが、少なくとも"芝の練習場さえ持てない貧乏アホーセイ"といった他校の揶揄もなくなろう。

平成17年度 司法試験 22名が合格

平成17年1月9日に法務省から、本年度司法試験最終合格者（第二次試験）が発表され、法政大学からは、昨年比10名増の22名が合格しました。これは大学別ランキングでは、全国で18位となるものです。

今年の司法試験は、全体の合格者が1464名と増えたとは言え、受験者数が3928名ということを考えれば、やはり難関であることは変わりありません。

来春からは、法科大学院の学生が卒業し受験をします。大学別合格者にも変化が現れることも考えられますので、注目して行きたいと考えます。

卒業生祝賀会のお知らせ

法学部同窓会主催、法学部教授会後援の卒業生祝賀会が平成18年3月24日（金）午後2時30分頃に、大学富士見校舎（市ヶ谷校舎）内で開催致します。

平成16年には60代の大先輩のお2人の飛び入り、平成17年度には、10分の先輩の激励挨拶が、熱がこもりすぎ30分近くになってしまうなどいろいろハプニングがありますが、これらは、すべて熱意と愛情にもとづくものです。諸先輩方を含め参加費は、無料ですし、参加形式にも問いません。あうらかじめ事務局に参加についての御質問も受けますし、当日の参加でもけっこうです。

開催の教室は、当日の法学部掲示板をご覧下さい。

会費納入・寄付金のおねがい

財務委員会委員長　中村　眞一

平成17年度（17年4／01～18年3／31）の会費（年間四千円）未納の方は早目にご納入下さい。また11年度、12年度、13年度、14年度、15年度、16年度分未納の方もご納入をお願い致します。ご協力をお願い致します。

（振込先）
みずほ銀行　東京中央支店
口座番号　普通預金　8555861
名義人　法政大学法学部同窓会

不要な「終身会員制度」もありますので終身会費八万円を一括して振り込まれても結構です。また苦しい財政を補うために有志の方の寄付金も募っております。

愛媛県西予市・宇和島市で 法律相談会を開催

平成16年4月、町村合併により誕生した西予市の三好幹二市長（昭和50年法律学科卒・法律相談部OB）からのお申し出もあり、法政大学法律相談部主催の無料法律相談会と講演会を、本年8月27日と28日に愛媛県西予市と宇和島市において開催致しました。

27日の講演会は西予市宇和文化会館にて、宮本健蔵法学部教授（昭和48年法律学科卒）が「市民生活と法律」、関口信之首都圏不動産公正取引協議会常任理事（昭和44年法律学科卒）が「住まいと広告」のテーマで市民の方々に分かりやすくお話をして頂き、熱心に耳を傾けている市民の方々も多く見受けられ好評でした。

法律相談会は、地元の西予市役所と社会福祉法人西予市社会福祉協議会の多大なるご協力を頂き、事前予約と当日受付によって行い法学部教授（昭和48年法律学科卒）が「市民生活と法律」、関口信之首都圏不動産公正取引協議会常任理事（昭和44年法律学科卒）が「住まいと広告」のテーマで市民の方々に分かりやすくお話をして頂き、熱心に耳を傾けている市民の方々も多く見受けられ好評でした。

法律相談会は、地元の西予市役所と社会福祉法人西予市社会福祉協議会の多大なるご協力を頂き、事前予約と当日受付によって行い学生には難しい実務的な法律問題にも親身に助言をして頂き、それを元に正確な回答が出来たと考えております。

我々法律相談部としては法律問題に悩む市民の方々のお役に少しでも立てればと部員一同懸命に努力いたしましたが、諸先輩方や各関係機関のお陰で充実した法律相談活動を行う事が出来ました。また生きた法律問題を扱うことで、大学ではなかなか勉強することの出来ない所まで学び、さらに相談者の方々から直におしかりして改めて厚く御礼を申し上げます。

私ども法律相談部は、今後とも無料法律相談会を通じて、法律問題に悩む市民の方々のお役に立てるよう活動すると同時に、母校と本法律相談部の名誉を日本各地に顕揚することに全力を挙げる所存でございます。今後とも諸先輩方のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

（法律相談部総責任者　櫻井広太）

●人間ドック・健康診断
アークヒルズクリニック
電話03－3505－5151
港区赤坂1－12－32
アーク森ビル3階
銀座線／溜池山王駅下車

鎌倉西口駅前
西洋食膳・酒席「くら」
kura
鎌倉市御成町11番40号
0467（22）2151
昭和39年卒業　平井　国政

原稿募集中です

広報委員長・大塚　孝子

本会報第15号（2006年6月発行予定）に掲載する原稿を募集しています。

〈短信〉
本法学部出身者あるいはグループの近況報告やしようとしていること等を200字～400字程度で（顔写真を添付、サイズはフリー）。

〈話題〉
法学部出身者、グループに関する話題を300字～500字程度で（それに関する写真を添付）

〈新会員です〉
入会1年未満の方が対象。抱負、同窓会への期待、どのような活動をしたいか等を400字程度で（顔写真添付、サイズはフリー）。

【投稿方法】
①マス目の原稿用紙か、パソコンを使用（1行12文字で作成）、②住所、氏名、年齢、職業、電話、FAX番号、何年卒業かを明記、原稿、広告とも

【締切】
4月30日（日）

【問い合わせ・あて先】
〒102－0073
東京都千代田区九段北四－一五
市ヶ谷法曹ビル八〇九
大塚孝子法律事務所
電話　03－3262－7141
FAX　03－3262－7142
メールアドレス
Lotsuka_office@isis.ocn.ne.jp

法政大学法学部同窓会ホームページのご紹介
http://hosei-hogakubu-doso.jp